

(調査様式1)

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成23年7月1日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4673300034
法人名	医療法人誠心会
事業所名	グループホームあったかハウス日吉
所在地	鹿児島県日置市日吉町吉利796番地
自己評価作成日	平成23年4月1日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 福祉21かごしま
所在地	鹿児島市真砂町54番15号
訪問調査日	平成23年5月26日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

あったかハウス日吉全体として、「気づきの姿勢を常に持ち利用者本位のケアを実践しよう」という目標を意識し、また、星フロアの掘り下げた目標として「お元気ですか？」と朝の一声を常に心がけることにより利用者様の不安や悩みを話しやすい環境づくりに努めています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

○ 近隣には田園が広がる交通量の多い国道に面して建てられているが、比較的静かでゆったりと落ち着いた雰囲気の漂うホームである。母体医療法人との連携は緊密であり、十分な支援体制が整っており、利用者や家族からの信頼は厚いものがある。

○ 地域の運動会やお祭りへの参加、中高生のボランティアや実習の受入れなど積極的に交流を図っている。また、事業所の夏祭りや茶話会、災害を想定した避難訓練等にも地域の方々に参加して頂くなど、地域との協働関係の構築に努めている。

○ 利用者のご家族とは来所時や家族会の際に、話しやすい雰囲気作りに努めて多くの意見を頂くと共に、家族アンケートも年2回実施し、結果を全職員が共有してサービスの質向上に具体的に反映を図っている。

○ 管理者が職員の意見や提案を、ミーティングや個別面談等で話しやすい雰囲気作りに努めて収集し、職員の緊密な連携の基で具体的に業務改善やサービス向上につなげるように取り組んでいる。

○ 本人・家族の意向や希望、関係者からの情報を基に、職員全員で意見交換して、きめ細かなわかりやすい記述の介護計画を作成している。ケアの経過は細かく項目設定された評価記録に詳しく記録され、それを基に介護計画の見直し修正がタイムリーに行われている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	毎日の申し送りやミーティング等で、職員がそろった時には「理念」を全員で唱和している。また「あったかハウス日吉」独自の目標を掲げ唱和している。	地域密着型サービスとしての事業所独自の運営理念に沿って、落ち着いた雰囲気の中で地域との交流や自立した生活の支援に取り組んでいる。日々のミーティング等での理念の唱和や勉強会を通じて理解を深めるように努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の運動会やお祭りに参加したり、中学生や高校生がボランティアや交流学习ができたり、グループホームの行事にも参加してもらったり、地域との交流を大事にしています。	地域の運動会やお祭りへの参加、中高生のボランティアや実習の受入れなど積極的に交流を図っている。散歩や買い物などに出かける際には人々と挨拶を交わし、事業所の夏祭りや茶話会には地域の方々に参加して頂き親しく会話を交わすなど交流の機会は多い。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	地域の行事に参加したり実習生の受け入れなどにも積極的に行っています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	実地指導や外部評価の評価報告を行い、改善に向けての参考意見をもったり、2ヶ月に1回の会議では、施設の行事報告を行い内容について意見を頂き、質の向上に取り組んでいます。	会議は家族や地域住民・民生委員・行政・地域包括センターの職員等関係者が参加して定期的開催されている。利用者及び事業所の状況報告や問題点などに関する話し合いが活発に行われ、それによる提案や意見がサービス向上に反映されている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営推進会議や市のグループホーム連絡協議会など市長村担当者と様々な意見や情報交換を行い日頃の協力関係を築いています。	市の職員に運営推進会議や事業所の行事に参加して頂くなど協働関係の構築を図っている。また、市のグループホーム連絡協議会にも出席して、ケアプラン作成等に関する情報交換に努めている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	勉強会や、ミーティングで職員が高齢者虐待、身体拘束等の認識を図り、身体拘束のないケアの取り組みを行っている。日々の申し送りにおいても、身体拘束が行われることがないようにケアについて話しあっています。	居室や玄関の施錠は行っておらず、職員は利用者の所作観察を通じて「気付き」の徹底に努めている。地域の方々にも協力頂ける関係づくりを図り、毎月の「身体拘束廃止委員会」で高齢者虐待、身体拘束等に関する理解を深める取り組みを行っている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	勉強会や、ミーティング等にて、高齢者虐待防止法について勉強したり、困っている事例があれば職員同士話し合いを持ちながら、理解の浸透や虐待の防止に努めています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	勉強会やミーティングの中に取り入れ職員全員が地域福祉擁護事業や青年後見人制度について研修できるように取り組んでいます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時に十分時間をとり利用者、御家族に理解していただけるように詳しく説明している。また看取りについて、医療連携体制、居宅療養管理指導についても時間をかけて説明し、疑問等なく納得して頂けるよう十分な説明を行っています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	利用者の方が日頃話している言葉や態度、また、レクレーションや毎日の食事の時間、お茶の時間等に話を聞きミーティングや担当者会議により職員全員が利用者の声を聞けるようにし、運営の参考にしてている。	利用者には、日常頻繁に声かけして思いや意見を聞きだす努力をしている。ご家族とは来所時や家族会の際に、話しやすい雰囲気作りに努めて多くの意見を頂いている。家族アンケートも年2回実施しており、ミーティングや担当者会議を通じて全職員が共有を図り、サービスに具体的に反映できるように努めている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	勉強会やミーティング、また朝の申し送り等で意見を聞くようにしている。また、日頃よりコミュニケーションをとれるようにし、いつでも意見や要望を聞けるような職場作りにし、働く意欲や質の向上に努めています。	管理者は、日常のミーティングや申し送り時に職員の意見や提案を聞き取ると共に、頻繁に声かけを行い、必要に応じて個別面談の場も設けて話しやすい雰囲気作りに努めている。得られた意見や提案を、具体的に業務改善やサービス向上につなげるように取り組んでいる。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	職員が常に向上心を持って働く事ができるように資格取得の支援や、資格を生かすことのできるような労働環境づくりに努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>事業所内はもちろん事業所外で開催される研修にも希望をとり、職員1人1人に合った研修なども見極め受講できるようにしている。また勉強会にて報告し、全職員が報告を聞き報告書を閲覧できるようにしています。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>協議会主催の研修や、県や市の研修、その他必要な研修があれば参加し、他のスタッフと交流を深め質の向上に励んでいます。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用者と話す時間を十分にとり言葉や、行動により本人がどうしてほしいか、どうしたいのか、御家族の要望を把握するように努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	御家族が困っていること、不安、要望など、面会の時や電話など、時間をかけた話し合いをし、よく聞き受け止めるように職員全員努力している。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	利用者、御家族が必要としている支援については、早急に限り柔軟な対応を行い、それ以外は、職員並びに主治医等を交えて対応に答えられるようにしています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	常に目を向け小さな変化に気付き、すぐに応じ快適な生活を送れる様に交流を持ち信頼しあえる環境づくりを築いています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	御家族とも多く関わりを持つことで、お互い信頼関係を結び利用者様を良く理解し、いい関係を保ちながら支援できるように努力しています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	利用者が希望する時は、利用者が馴染みの美容院を利用したり、知人の方が面会に来られた時も、またおいでいただけるように働きかけています。	利用者の知人などの来所時には、ゆったりと過ごせるように支援することをはじめ、電話の取り次ぎや年賀状・暑中見舞い等の作成の支援も行っている。本人が希望する墓参りや、馴染みの美容院・商店などへの同行にも努め、その折に知人との交流も民生委員等の協力で実現出来ているケースもある。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	気の合う方同士で、話ができるように和室にソファやテレビを置き、過ごしていただけるような場をつくっています。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	ホームを退所され、サービスが終了されても、入院されてる方はお見舞いに行き、御家族の方には、いつでも相談に応じることを話し、継続的な付き合いができるように心がけています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	行動や、表情により把握に努め、また、意思疎通困難な方には御家族等から情報をいただき、職員全員で検討を行っています。	利用開始時の本人や家族からの聞き取りや、日常の言葉や表情・所作から思いや意向を把握するように努めている。ミーティングやきめ細かく記録した申し送りノートで情報の共有を図り、家族とも相談しながら最良の支援を目指す努力を重ねている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用時に、利用者、御家族に十分な時間をかけ聞き取りをおこない、過去の具体的な情報を聞くことに努めている。またこれに伴い、相談受付表も作成している。利用者の趣味等で使用している物も持ち込んでいただき、日々の生活において楽しめるように心がけています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	入居以前の情報を御家族に聞き一人ひとりの生活リズムを把握し、できることから検討していくように努力しています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	利用者や御家族の意見や思いを聞き、主治医、職員でアセスメントを元に検討会を行っており、できなくなった活動も少しでもできるように職員全員で話し合い反映できるようにしています。	本人・家族の意向や希望、関係者からの情報を基に、職員全員で意見交換して、きめ細かなわかりやすい記述の介護計画を作成している。ケアの経過は細かく項目設定された評価記録に詳しく記録され、それを基に介護計画の見直し修正がタイムリーに行われている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日プアランやモニタリングチェックを行い、気づきがあれば個別記録に記録し、毎日チェック時と検討会にて職員全員が共有し見直しに活かしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	利用者や御家族の要望に臨機応変に対応し、満足していただけるように努力しています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	利用者が地域の暮らしを続けられるように、民生委員、ボランティア、地域住民等の方々と交流する機会を多く持つように努力しています。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者様や御家族の希望を含め、医療連携や、居宅療養管理指導により、主治医との連携を密にしています。	利用前の受診経過も記録整備されており、本人や家族の希望するかかりつけ医との情報交換は十分なされ、家族と連携の上、適切な医療が受けられるように通院や訪問診療を可能な限り支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問看護ステーションとの契約に基づき、日頃の健康管理や医療面での相談、助言、対応を行ってもらっている。訪問看護ステーションの看護師とは、気軽に相談できる関係ができていたため、いつでも連絡、相談ができるような体勢を確保しています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には医療機関へ、利用者の情報を提供し、毎日職員が見舞い、御家族に報告したり、御家族より情報をいただいたり、状況を三者が協力して退院支援に結び付けています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	契約時に終末期について説明を行い、御家族の希望があれば終末期に向け利用者、御家族、主治医、看護師、職員全員で方針を話し合うようにしているが、まだ終末期を施設で希望する方はおられない。	医療連携体制があり、入居時に「看取りに関する指針」により方針を説明し、同意を得ている。本人や家族と十分に話し合い、医師を始めとする関係者との連携を密にして、事業所で行える必要な支援を実施できる体制づくりを図っている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	勉強会に消防署の協力を得て、救急手当や蘇生術の実技を取り入れている。また緊急時対応については、マニュアルを作成し周知徹底をおこなっています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回利用者と地域の方に協力を頂き、避難訓練を行っており、地域協力体制については、月1回の交流会や運営推進会議、また隣接している職員寮と協力して緊急時に対応できるようにしています。	消防署、民生委員や地域の方々の参加の基、定期的に夜間も含む火災や地震を想定した避難訓練や消火訓練を実施している。災害時に備えた食料や水・衣類等の準備も十分であり、隣接する職員寮との緊急時対応の連携も図られている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	勉強会やミーティングで職員が個人情報保護法の意識向上を図るとともに利用者の尊厳を大事にするように対応しています。	利用者の誇りや尊厳を大切にするように研修やミーティングを通じて指導し、職員は守秘義務についての誓約書を提出している。日常生活では声かけに工夫し、観察はきめ細かく、個人記録の保管にも十分配慮して、利用者の人格や感性を大切にした対応を心掛けている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	職員側できめた事を押しつけるようなことはせず、複数の選択肢を提案して一人ひとりの意思を尊重し、利用者が自分で選ぶ場面をつくっています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な流れはもっているが、一人ひとりの体調や、気持ち、御家族から伺った情報に配慮しながら、柔軟に対応しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	個々の生活習慣に合わせる支援をし、支援が必要な方は職員と一緒に考え本人の気持ちにそった支援をおこなっている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	毎日の食事の時間や、会話の中で食べたい物を聞き、一人ひとりの嗜好を考え献立をたて、買い物、調理、片づけ利用者と共に、職員と利用者が楽しく食事ができるような雰囲気大切にしている。	日常会話で把握できた利用者の好みを献立や味付けに反映させ、とろみやきざみ食等の工夫を行っている。食材の買い物から調理・盛り付け・食卓の準備・後片づけ等の一連の流れを利用者と共に、食事を楽しみながら行う雰囲気作りに努めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事や水分摂取量を毎日記録しており、一人ひとりの状況によっては管理栄養士に相談、参考として献立を提供していただいています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後一人ひとりに口腔状態や、力に応じた対応を行っている。就寝前には義歯洗浄を行っています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	尿意、便意が無い方でも時間をみて、トイレにて排泄できるように支援している。時間や習慣を把握しトイレ誘導によりトイレでの排泄を促しています。	排泄チェック表の活用や適宜の声かけ誘導で、不安や羞恥心の軽減も兼ねた排泄の自立に向けた支援を行っている。ポータブルトイレにペーパーやゴミ箱を工夫して設置し、訓練の結果、独力での排泄が実現でき、トイレでの排泄が可能になった事例も見られる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食材の工夫や散歩、軽体操により自然に排泄出来るように取り組み、必要時には、医療連携により主治医に相談しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴時間は決めてあるが、毎日利用者に聞き希望があればその時間以外でも入浴できるように努めています。	基本的には毎日午前中は入浴可能であるが、利用者の健康状態や体調を見ながら、足浴や清拭等希望に沿う対応に努めている。入浴忌避者には、安心できるように声かけ等の工夫を行っている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中の活動を促し、体調や表情を考慮し、ゆっくり休息がとれるように支援している。寝付けない時は、話をしたりしながら一緒に過ごしています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬の一覧表にて職員全員が内容を把握できるようにしている。処方箋の変更があった場合には、ミーティングや検討会などにて申し送り、全員が把握し状態変化に対応できるようにしています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	園芸や、料理、その他の活動の中で、一人ひとりの得意とすることで、力を発揮してもらえるように、お願いし、終わった後は感謝の言葉をかけるように心がけています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	利用者の希望に応じて、散歩、買い物、墓参り、ドライブなど外出により季節を感じてもらえるように支援しています。	利用者の希望は日常会話を通じて把握に努め、時には地域のボランティアの協力も仰いで、花見や遠足、戸外での茶話会など季節に合わせた外出を企画している。日常的には、散歩・買い物・ドライブ・墓参り等、外出が楽しみになるように支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	利用者間の協力にて、少量のお金を持っておられる方もある。買い物に出かけた場合は、利用者の方に自分で払ってもらい買い物の楽しみやお金の大切さを理解してもらえるようにしています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	御家族に電話しやすい雰囲気をつくったり、会話が他の利用者に聞こえないように子機を使って自室で話していただくなど配慮し、支援しています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節のものを飾ったり、ソファや冬はコタツなどの家庭的な調度品を持ち込んだり、装飾も派手にならず、温かい雰囲気になるように心がけています。	リビングの壁には、利用者と職員が共同で作成した、季節感ある絵や貼り絵、それに行事の写真などが飾られ、落ち着いた雰囲気の中で、静かにゆったりと過ごせるように工夫されている。園庭には小さな菜園がありベンチも置かれ、建物の周囲は散策できるように通路も整備され、気持ちよくくつろげるように配慮されている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	フロアにソファを置いたり、和室のテレビやソファを置き、気のあった方と過ごしたり、御家族とゆっくり過ごすことのできる場所を確保しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者、御家族とも相談をして、仏壇、写真、テレビ、好きな家具を持ち込むことにより、安心して居心地良く過ごしていただけるようにしています。	利用者が使い慣れた人形・写真・テレビ・家具等を持ち込んで頂き、落ち着いて居心地よく過ごせる居室になるように、ご家族とも協力しながら環境づくりを工夫している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	バリアフリーで設置しており、浴室にも滑り止めや手摺りを使用するなど、至る所に手摺りなども設置しており、安全確保への配慮をしています。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	真日の申し送りやミーティング等で、職員がそろった時には「理念」を全員で唱和している。またあったかハウス日吉独自の目標を掲げ尾名族唱和している。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人員として日常的に交流している	地域の運動会やお祭りに参加したり、中学生や高校生がボランティアや交流学习ができたり、グループホームの行事にも参加してもらったり、地域との交流を大事にしています。		
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	地域の行事に参加したり実習生の受け入れなどにも積極的に行っています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	実地指導や外部評価の評価報告を行い、改善に向けての参考意見をもらったり、2ヶ月に1回の会議では、施設の行事報告をを行い内容について意見を頂き、質の向上に取り組んでいます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営推進会議や市のグループホーム連絡協議会などsチョウ村担当者と様々な意見や情報交換を行い日頃の協力関係を築いています。		
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	勉強会や、ミーティングで職員が高齢者虐待、身体拘束等の認識を図り、身体拘束のないケアの取り組みを行っている。日々の申し送りにおいても、身体拘束が行われないようにケアについて話しあっています。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	勉強会や、ミーティング等にて、高齢者虐待防止法について勉強したり、困っている事例があれば職員同士話し合いを持ちながら、理解の浸透や虐待の防止に努めています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	勉強会やミーティングの中に取り入れ職員全員が地域福祉擁護事業や青年後見人制度について研修できるように取り組んでいます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	契約時に十分時間をとり利用者、御家族に理解していただけるように詳しく説明している。また看取りについて、医療連携体制、居宅療養管理指導についても時間をかけて説明し、疑問等なく納得して頂けるよう十分な説明を行っています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	利用者の方が日頃話している言葉や態度、また、レクリエーションや毎日の食事の時間、お茶の時間等に話を聞きミーティングや担当者会議により職員全員が利用者の声を聞けるようにし、運営の参考にしている。		
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	勉強会やミーティング、また朝の申し送り等で意見を聞くようにしている。また、日頃よりコミュニケーションをとれるようにし、しつこくても意見や要望を聞けるような職場作りにし、働く意欲や質の向上に努めています。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	職員が常に向上心を持って働く事ができるように資格取得の支援や、資格を生かすことのできるような労働環境づくりに努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>事業所内はもちろん事業所外で開催される研修にも希望をとり、職員1人1人に合った研修なども見極め受講できるようにしている。また勉強会にて報告し、全職員が報告を聞き報告書を閲覧できるようにしています。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>協議会主催の研修や、県や市の研修、その他必要な研修があれば参加し、他のスタッフと交流を深め質の向上に励んでいます。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用者と話す時間を十分にとり言葉や、行動により本人がどうしてほしいか、どうしたいのか、御家族の要望を把握するように努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	御家族が困っていること、不安、要望など、面会の時や電話など、時間をかけた話し合いをし、よく聞き受け止めるように職員全員努力している。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	利用者、御家族が必要としている支援については、早急に限り柔軟な対応を行い、それ以外は、職員並びに主治医等を交えて対応に伝えられるようにしています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者は、人生の先輩であり尊敬する人であるので普段から何事も聞き、教えてもらい、職員が学び、支えるという様な日常生活を送れるように協力しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	御家族とも多く関わりを持つことで、お互い信頼関係を結び利用者様を良く理解し、いい関係を保ちながら支援できるように努力しています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	利用者が希望する時は、利用者が馴染みの美容院を利用したり、知人の方が面会に来られた時も、またおいでいただけるように働きかけています。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	気の合う方同士で、話ができるように和室にソファやテレビを置き、過ごしていただけるような場をつくっています。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	ホームを退所され、サービスが終了されても、入院されてる方はお見舞いに行き、御家族の方には、いちでも相談に応じることを話し、継続的な付き合いができるように心がけています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	行動や、表情により把握に努め、また、意思疎通困難な方には御家族等から情報をいただき、職員全員で検討を行っています。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用時に、利用者、御家族に十分な時間をかけ聞き取りをおこない、過去の具体的な情報を聞くことに努めている。またこれに伴い、相談受付表も作成している。利用者の趣味等で師湯押している物も持ち込んでいただき、日々の生活において楽しめるように心がけています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	入居以前の情報を御家族に聞き一人ひとりの生活リズムを把握し、できることから検討していくように努力しています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	利用者や御家族の意見や思いを聞き、主治医、職員でアセスメントを元に検討会を行っており、できなくなった活動も少しでもできるように職員全員で話し合い反映できるようにしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日プアランやモニタリングチェックを行い、気づきがあれば個別記録に記録し、毎日チェック時と検討会にて職員全員が共有し見直しに活かしています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	利用者や御家族の要望に臨機応変に対応し、満足していただけるように努力しています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	利用者が地域の暮らしを続けられるように、民生委員、ボランティア、地域住民等の方々と交流する機会を多く持つように努力しています。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	莉湯尾者や御家族の希望を含め、医療連携や、居宅療養管理指導により、主治医との連携を密にしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問看護ステーションとの契約に基づき、日頃の健康管理や医療面での相談、助言、対応を行ってもらっている。訪問看護ステーションの看護師とは、気軽に相談できる関係ができていたため、いつでも連絡、相談ができるような体勢を確保しています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には医療機関へ、利用者の情報を提供し、毎日職員が見舞い、御家族に報告したり、御家族より情報をいただいたり、状況を三者が協力して退院支援に結び付けています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	契約時に終末期について説明を行い、御家族の希望があれば終末期に向け利用者、御家族、主治医、看護師、職員全員で方針を話し合うようにしているが、まだ終末期を施設で希望する方はおられない。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	勉強会に消防署の協力を得て、救急手当や蘇生術の実技を取り入れている。また緊急時対応については、マニュアルを作成し周知徹底をおこなっています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回利用者と地域の方に協力を頂き、避難訓練を行っており、地域協力体制については、月1回の交流会や運営推進会議、また隣接している職員寮と協力して緊急時に対応できるようにしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者様の誇りやプライバシーを見極めその人に合わせた言葉かけや対応をしている。配慮を怠るようなケアせず本人を傷つけてしまわないようにさりげないケアしています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	職員側できめた事を押しつけるようなことはせず、複数の選択肢を提案して一人ひとりの意思を尊重し、利用者が自分で選ぶ場面をつくっています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な流れはもっているが、一人ひとりの体調や、気持ち、御家族から伺った情報に配慮しながら、柔軟に対応しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	個々の生活習慣に合わせる支援をし、支援が必要な方は職員と一緒に考え本人の気持ちにそった支援をおこなっている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	毎日の食事の時間や、会話の中で食べたい物を聞き、一人ひとりの嗜好を考え献立をたて、買い物、調理、片づけ利用者と共に、職員と利用者が楽しく食事ができるような雰囲気大切にしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事や水分摂取量を毎日記録しており、一人ひとりの状況によっては管理栄養士に相談、参考として献立を提供していただいています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後一人ひとりに口腔状態や、力に応じた対応を行っている。就寝前には義歯洗浄を行っています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	尿意、便意が無い方でも時間をみて、トイレにて排泄できるように支援している。時間や習慣を把握しトイレ誘導によりトイレでの排泄を促しています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食材の工夫や散歩、軽体操により自然に排泄出来るように取り組み、必要時には、医療連携により主治医に相談しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴時間は決めてあるが、毎日利用者に聞き希望があればその時間以外でも入浴できるように努めています。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中の活動を促し、体調や表情を考慮し、ゆっくり休息がとれるように支援している。寝付けない時は、話をしたりしながら一緒に過ごしています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬の一覧表にて職員全員が内容を把握できるようにしている。処方箋の変更があった場合には、ミーティングや検討会などにて申し送り、全員が把握し状態変化に対応できるようにしています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	園芸や、料理、その他の活動の中で、一人ひとりの得意とすることで、力を発揮してもらえるように、お願いし、終わった後は感謝の言葉をかけるように心がけています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	利用者の希望に応じて、散歩、買い物、墓参り、ドライブなど外出により季節を感じてもらえるように支援しています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>利用者の協力にて、少量のお金を持っておられる方もある。買い物に出かけた場合は、利用者の方に自分で払ってもらい買い物の楽しみやお金の大切さを理解してもらえるようにしています。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>御家族に電話しやすい雰囲気をつくったり、会話が他の利用者聞こえないように子機を使って自室で話していただくなど配慮し、支援しています。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>季節のものを飾ったり、ソファや冬はコタツなどの家庭的な調度品を持ち込んだり、装飾も派手にならず、温かい雰囲気になるように心がけています。</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>フロアにソファを置いたり、和室のテレビやソファを置き、気のあった方と過ごしたり、御家族とゆっくり過ごすことのできる場所を確保しています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者、御家族とも相談をして、仏壇、写真、テレビ、好きな家具を持ち込むことにより、安心して居心地良く過ごしていただけるようにしています。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	バリアフリーで設置しており、浴室にも滑り止めや手摺りを使用するなど、至る所に手摺りなども設置しており、安全確保への配慮をしています。またご本人の自立心にも配慮しています。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない